

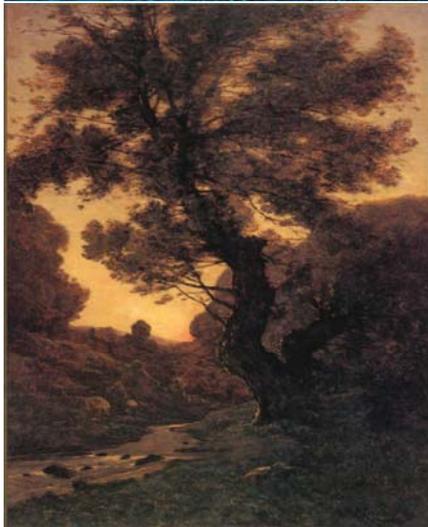
# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2010.11.29

No.1975  
No.17



出席率	会員50名中33名			
先々週の出席率	91.49%			
先週の	11/19	吉田RCへ	西巻克郎君	吉井正孝君
メイクアップ	11/20	地区大会第1日目(上越)へ	馬場信彦君	蕪澤喜一郎君
			大溪秀夫君	野崎正明君
			田代徳太郎君	坂井範夫君
			嘉瀬 修君	
	11/21	地区大会第2日目(上越)	馬場信彦君	蕪澤喜一郎君
			大溪秀夫君	野崎正明君
			坂井範夫君	嘉瀬 修君
			赤塚 寧君	馬場輝仁君
			熊倉高志君	永桶俊一君
			野中 悟君	齋藤嘉一君
			佐藤栄祐君	佐藤嘉男君
			鈴木罔彦君	若井 博君
			吉井正孝君	
	11/25	三条東RCへ	坂井範夫君	
	11/25	燕RCへ	丸山征夫君	西巻克郎君
			佐々木常行君	鈴木 武君



地域を育み  
大陸なく

## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長  
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

この11月20日(土)、21日(日)は、国際ロータリー第2560地区の2010~11年度の地区大会が、東山ガバナーによって上越市で開催されました。後程数名の方にお話しさせていただきます。

まず、この地区大会はその年度における、一番重要な大会であります。

初日は、会長・幹事・ロータリー財団・米山記念奨学委員長会議が午後から行われました。東山ガバナーの挨拶に続き、RI会長代理の小沢一彦氏(横須賀RC)からお話がありました。その後、地区7大委員長(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学委員会)から簡単な報告がありました。それに引き続き、地区研修リーダーの馬場信彦パストガバナーから本日の講師の紹介(ロータリー財団地域セミナーでは片岡暎子さん、米山記念奨学セミナーではアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん(ネパール))があり、それから本題に入りました。

片岡さんからはロータリー財団のプログラムや仕組みなどにつき分かりやすく説明がありました。また、アルチャナさん、彼女は鈴鹿西ロータリークラブに属しておられますが、ネパールにおける女性の自立支援について話をされ、ミシン洋裁・刺繍・理容等女性が手に職を持つことにより、月収が130ルピーから1300ルピーと10倍になり、子供の教育などにも役立つということでした。

2日目は、国際政治学者であり、参議院議員でもある浜田和幸氏の「アジア大交流時代の幕開けと日本」と題した記念講演がありました。要約しますと、「3K」①環境 ②健康 ③絆 が大切であると話され、ガバナーの『友絆』を持ち上げられていました。また、環境に関しては 1) 大気汚染 2) 水質汚染 3) 土壌汚染について話され、とくに水の汚染或

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]  
 第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]  
 第4分区AG 蕪澤喜一郎 [三条南]  
 会長 大溪 秀夫  
 幹事 野崎 正明  
 S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10  
**三条信用金庫 本店内**  
 TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095  
 E-mail info@sanjo-minami.jp  
 URL http://www.sanjo-minami.jp

いは活用について熱心に語られました。最後に中国人と日本人の気質の違いについて触れ、「魯迅」の話として、日本人は“織認”〔まじめ〕であるが、中国人は“馬々虎々（マーマーフーフー）”〔いい加減〕と話しておられました。大会に参加された会員の皆様、大変ご苦労様でした。

ところで、この11月23日、北朝鮮の韓国延坪島（ヨンピョンド）砲撃は、近隣諸国を震撼させました。日本は平和であるが、お隣の朝鮮半島では、第二次世界大戦に引き続いて勃発した朝鮮動乱、冷戦がまだ終わっていないのだと、つくづく思われました。今、私たちが何ができるのかを考えさせられる出来事で、これからの推移を見守りたいと思います。

また、相撲では白鵬の連勝記録が63でストップしてしまいました。しかし、14勝1敗で優勝決定戦において平幕相手を退け、見事優勝しましたが、勝ち続けるということは難しいものと思いました。今後の活躍を期待します。

◆◆ 地区大会において ガバナー表彰及びロータリー財団表彰を受賞しました。 ◆◆



AEDの設置及び  
救命講習の開催に対して  
ガバナー表彰・社会奉仕  
部門表彰



ロータリー財団寄付、  
クラブの個人平均寄付  
額上位 10クラブ表彰  
第 10位

## 委員会報告

親睦・プログラム・ニコニコボックス委員会

長谷 美津明 委員長



## クリスマス ジャズ de ナイト 忘年家族会 ご案内

- ◇ と き 12月20日(月) 18:30~
- ◆ と ころ 饒心亭 おゝ乃
- ◇ 会 費 会員 5,000円 ご夫人 5,000円
- ◆ キャンセル 当日10:00までにご連絡下さい。  
それ以降につきましては会費ご負担いただきます。

どうぞ、奥様とちょっと早いクリスマスを ジャズ de ナイト でお楽しみ下さい。  
多くの皆様のご出席を 親睦委員会一同お待ちしております。

# ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 11月29日 6,000円  
今年度累計 314,000円

- 大 溪 君 11/20・21は地区大会出席ご苦労様でした。寒くなって参りました。ご自愛願います。
- 野 崎 君 ○20日・21日と2日間にて地区大会が開催されました。参加の皆様ありがとうございました。  
○本日、報告をお願いしました4名の皆様よろしくお願ひ致します。
- 蒔 澤 君 地区大会、東山ガバナーを迎えての第4分区親睦交流会、ご協力・ご参加ありがとうございました。感謝！感謝！

- 吉 田 君 昨日は、食品関係の勉強会で新潟へ。帰りに駅弁を買ったが、売切れて『えんがわの押寿司』が一個しかなかった。結構美味しかった！
- 田 中 君 今日もまた雨です…。BOXへ
- 渡 邊 (久) 君 BOXに協力いたします。



## ガバナー挨拶

2010-11年度 東山 昕也 ガバナー



本大会は、高田ロータリークラブをホストに、戦国の乱世に人として守るべき正しい道「義」に生きた名将、上杉謙信公のふるさと「800年の歴史と文化の城下町高田」越後・上越市での開催であります。戦国の時代と今をつなぐこの地に生きる「義の心」が上越市の春日山城ここから始まりました。

国際ロータリー レイ・クリンギンスミス会長は、ロータリーは地域を育むのに最も適した集団であり、世界理解と国際親善によって世界中の人々を結びつけ、地域と世界のどこでも健康で住みやすく、働きやすい場所に

するためにロータリアンに支援と協力するよう呼びかけております。そして、活動の焦点は「将来に夢を持とう」ということであり「クラブの活性化と柔軟化」が強調されております。今こそロータリーは個々の事業者が環境の変化に対応できるようロータリーも「革新と進歩」は組織を維持していく上で不可欠であります。

私はロータリークラブはそれぞれの地域に生まれ育ち、地域とともにあり、ロータリアンの熱き心の絆を大切に友情を深め、地域のため、地域から認められるロータリー活動を願い、地区のテーマを「友絆(きずな)・・・地域とともに」とさせていただきます。

本大会の特色は、第1日目は地区指導者研修会としてロータリー財団地域セミナーと米山記念奨学セミナーを開催し、第2日目に小沢一彦RI会長代理より、RI会長のメッセージとご講演を賜り、記念講演として国際政治経済学者、浜田和幸氏をお招きして「アジア大交流時代の幕開けと日本」と題してお話をさせていただきます。いずれもロータリアンの必修の学びの機会になると確信しております。

本日の大会がロータリアン同士の交流から、地域に根ざした奉仕活動が行なえるように、2日間の地区大会を皆様とロータリーを大いに楽しみ、多くの感動と友情の絆が一層広がり、RIテーマ「地域を育み・大陸をつなぐ」をさらに深くなることを確認しあいましょう。

## 国際ロータリー会長メッセージ

レイ・クリンギンスミス RI会長

1960年に私は、派遣を控えたロータリー奨学生として初めての地区大会に参加しました。それ以来、そのような大会におそらく100回以上参加し、このような年次会合の大切さを強く信じるようになりました。

地区大会はロータリーの伝統であり、毎年、ロータリアンとゲストに情報を提供し、熱意を掻き立てる機会となっています。ロータリークラブの会員が、クラブを超えたロータリーの素晴らしいプロジェクトと傑出した国際性を知ることで、ロータリアンはさらに成長します。

本年度、私は皆さまに、ロータリークラブと地区で革新的な文化を育てていただくよう呼びかけていますが、私たちは、往々にしてベストプラクティスではなく、従来のやり方を好むものですが、今までのやり方と手続をすべて見直し、より効率的、効果的なものにしなくてはなりません。現代社会において、クラブと地区に活気をもたらす、持続性を持ち続けるよう努力すれば、ロータリー精神はこれからも花開いていくでしょう。

世界各地でロータリークラブの運営の仕方は様々ですが、すべてのクラブは親睦と奉仕という目的を共有しています。つまり私たちは、クラブのネットワークを通じて「画一化ならぬ結束」を見事に実現しているのです。そして、より大きく、豊かで、大胆になれるようクラブを援助できるなら、ロータリーにさらなる全盛期が確実に訪れるはずで

より良い世界に向けた私たちの取り組みを続けるため、ロータリークラブが最も得意とする「地域を育み、大陸をつなぐ」活動を、これからも邁進してまいりましょう。

## 国際ロータリー会長代理メッセージ

小沢一彦RI会長代理(TRF管理委員・横須賀RC)



今年度のRI会長の方針による制度変更で、ガバナーが直接会長代理を依頼出来るようになりました。東山昕也ガバナーよりご依頼をいただき、私がこうしてレイ・クリンギンスミスRI会長の代理として貴地区の地区大会に向うことができますことを大変光栄に思います。

残念ながら私の同期ガバナーである吉田昭平パストガバナーが今年の4月8日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

この大会2日間、皆様方が新しい友を作り、古い知己と旧交を温め、そしてロータリーの奉仕についての理解を深め、ロータリーの輪を広めていかれる良い機会となりますよう心より祈念しております。私もできるだけ多くのロータリアンと接し、交流と親睦を図り、ロータリアンとしての楽しみを皆様と一緒に分かち合いたいと思っております。

# 記念講演



## 【講師】 浜田和幸氏

参議院議員  
国際未来科学研究所主宰 国際政治経済学者  
米ワシントン・ロータリークラブ米日友好委員長 歴任

## 【演題】 『アジア大交流時代の幕開けと日本』

急成長を遂げるアジア諸国は「光と陰」の世界でもある。経済的には富裕層が続々と誕生し、中国の場合は日本の倍以上の外貨を所有するまでになり、スパコンの開発能力でも日本を抜き去ったといわれる。その一方で経済格差や環境破壊の問題が深刻化している。わが国とすれば、アセアン諸国をはじめとするアジア諸国との信頼関係をいかに築きあげることができるか、真剣に考える時であろう。日本人の自然と共存する生き方とアジアが必要とする環境エネルギー技術をいかに組み合わせることができるのか。環日本海経済圏構想の行方を含め、日本とアジアの未来を展望し、ロータリー精神を活かした創造的民間外交を提案したい。

## RI現況報告 国際ロータリー

### ■会員（2010年6月30日現在）

世界  
クラブ数… 34,103クラブ  
会員数… 1,227,563人  
国および地域数… 200以上  
2009-10年度新クラブ数… 746クラブ  
2010-11年度地区数… 530地区  
日本  
34地区のクラブ数（グアム等を含む）… 2,309クラブ  
34地区の会員数（グアム等を含む）… 91,986人

■ロータリーにおける女性会員（2009年6月）  
女性会員（推定）… 196,749人  
女性会員のいるクラブ数（推定）… 26,853クラブ

■インターアクトクラブ（14～18歳）創設1962年  
米国ノースカロライナ州、メルボルンRCによって  
提唱（2010年6月30日現在）  
クラブ数… 12,684クラブ  
会員数（推定）… 291,732人  
日本のクラブ数… 545クラブ

■ロータリー地域社会共同隊（創設1986年）  
（2010年6月30日現在）  
共同部隊数… 6,926  
会員数（推定）… 159,298人  
日本の共同部隊… 27

■ローターアクトクラブ（18～30歳）創設1968年  
米国ノースカロライナ州、シャーロット・ノースRC  
によって提唱（2010年6月30日現在）  
クラブ数… 8,232クラブ  
会員数（推定）… 189,336人  
日本のクラブ数… 286クラブ

■ロータリー青少年交換プログラム（創設1929年）  
（2009年7月1日現在）  
年間参加者（推定）… 8,500人  
プログラム参加の国及び地域数… 115以上

■2010-11年度予算  
収入 8,494万ドル  
支出 8,405万ドル

## 地区大会出席報告

□ 嘉瀬 修 会員（米山奨学委員長）



今回、11月20日、21日の会長・幹事・ロータリー財団・米山記念奨学委員長セミナーと地区大会への参加報告を致しますが、私は、前日の財団と米山記念奨学セミナーの様子を報告致します。

まず、その前に米山奨学委員会に対して行う寄付金の希望額が、例年通り一人18,000円と通知されましたが、皆様のご協力のおかげで、10月中旬にとりあえず一人分10,000円を会員数分、本部に送金することが出来ました。ありがとうございました。

会議は、午後1時から開始され、RI会長代理で、横須賀RC所属の小沢一彦様の挨拶の後、地区の7人の大委員長さんの現況報告がありました。

その後、地区指導者研修会として、ロータリー財団セミナーでは、川口西RC所属の、昨年まで国際ロータリー日本事務局財務室長でした片岡暎子さんが「ロータリー財団プログラムをもっと使おう」と題して1時間講演されました。

続いて、米山記念奨学セミナーでは、鈴鹿西RCの世話で鈴鹿国際大学に2001-02年度米山奨学生として留学されたネパールの「アルチャナ・シュレスタ・ジョシ」さんという若い女性が75分間講演されました。

現在は、母国ネパールで女性の自立支援のための職業訓練所『ルーザー トレーニングセンター』を2003年

に設立して、ネパール第 3292 地区、ラリトプール RC 会員として活動するかたわら、日本や韓国のロータリークラブや地元の支援を得て、貧しい女性たちにミシン縫製や刺繍、美容や理容等の技術を無償で教えているそうです。彼女が、こんな大事業を考えたいきっかけは、日本の奨学金で学んだ間に知った、母国と日本とのあまりにもかけ離れた生活環境の違いからだったそうです。

日本に来て驚いたことは、100%の識字率、女性の地位と社会進出、勤勉さ、時間を守ること等、ビックリすることがたくさんあったそうです。ネパールが抱えている問題は、識字率の低さ、貧富の差、女性の地位の低さ、隷属性、内戦で男性がいない家庭の増加、出稼ぎのため外国に行く若者の増加だそうです。

生活を支える男性が少ないため、生活自立の技能を持っていない女性が安い賃金で働くしかなく、そのために女性の識字率は、わずか 40% だそうです。ネパール女性の経済的な自立や社会的地位の確保・向上や生活自立は、手に職を持つことと考え、女性だけの職業訓練所を設立したそうです。

この他に、世界でも類の見ない日本独自の米山奨学資金で日本の大学で学んだ東南アジアの米山学友が母国で多数活躍しています。

中国の米山奨学生は、自分達が母国で教わった日本に対する教育が、日本に来てみて大変間違っていたことに気づき、母国に帰ったら日本の良いところを仲間に伝えたいとコメントしています。

最後になりますが、今年度も昨年同様、目標額が達成できますようご協力をお願い致します。

## □ 永桶 俊一 会員



記念講演について報告させていただきます。

講師は浜田和幸先生で、国際政治学者かつ 2010 年参議院議員に当選した国會議員であります。浜田先生は「たけしの TV タックル」にも出演されているそうです。

演題は「アジア大交流時代の幕明けと日本」という演題でした。

中国では近年環境問題が大きくクローズアップされており、いままでの環境対策のつけがまわっている。そして驚くべきはこの環境問題により中国には 7000 万人の障害者がいます。

5 年前胡錦濤国家主席は中国人と日本人の DNA を調べたところ日本人はその昔中国人だったという話をされたとかで、歴史的に見てもかなり矛盾があります。

一国の首相がこのような発言をするには相手がどう思うかを考えても通常慎重になるべきところです。こんな点からも日本人と中国人が同じ民族とは決して思えません。

日本は中国にいままで 20 兆円もの ODA を行ってきたことに対して、中国人はどのように捕らえているのか聞いてみたいと思いました。すでに外貨は中国のほうが日本を上回って持っています。

今後尖閣湾問題も含めてますます外交が難しくなっています。外交に関してだんだん政府の対応は下手になっているような気がします。外交は積み上げとそれによってできる人とのつながりが大事で、すぐに良くなることはないことはわかっています。しかしながら日本には外交に優れた人はいないのかと残念でまたこれからが心配であります。

以上で報告とさせていただきます。

## □ 馬場 輝仁 会員



11 月 21 日にリージョンプラザ上越にて開催されました「地区大会」について報告と感想を述べさせていただきます。

午前中の会議ですが、9:30 横須賀 RC の小沢一彦 RI 会長代理の入場から始まりました。その後、点鐘、国歌・ロータリーソング斉唱、握手タイムとセレモニーを行いました。

東山ガバナーより、RI 会長代理・来賓・同期ガバナー・パストガバナー、その他地区特別出席者の紹介がありました。この紹介で、プログラムのタイムスケジュールをだいぶオーバーし、その後の前年度地区資金収支報告、大会委員会報告は、駆け足で進行し、大会決議案採択で午前の部は終了しました。

本会議、午後の部の後、16:00 より親睦交流会（ロータリーのタベ）が始まりました。お昼のお弁当もそうでしたが、交流会のお弁当も、東山ガバナーの会社 デュオ・セレッソの料理でした。交流会のお弁当は表に『直江兼続』の銅像が入っていたりと、とてもアイデアのあるお弁当だなと思いました。

交流会は、タイムスケジュールでは 2 時間ほどの予定でしたが、始まって 40 分位から帰り始める人が増え、閉会予定時間より 1 時間早く、正味 1 時間程度で終了しました。短い時間ではあったのですが、アルコール類、特にワインが開始 15 分程で無くなり、頼んだ日本酒（熱燗）はいくら催促しても出てこない、ビールもなくなるという状況でしたので仕方ないのかなと思いました。ただ予定よりも早くに家路につけたので良かったです。因みに、頼んだ日本酒は閉会間際になって 2~3 本×催促した回数分 まとめて出てきました。

当日は全体的に会場が寒く、約 8 時間のパイプ椅子は辛かったです。ただ私自身は初めての地区大会出席でしたので、入会して 1 年半になりますが、ロータリークラブを理解する上でとても勉強になりました。



今回の大会参加報告は、午前と午後の部で報告担当がおられるということで、予備軍の私はあまり準備もしないまま、壇上におりますことをまずもってお許しください。この様なことから、私の報告は二日目の全体を通しての感想とさせていただきます。まず地区大会のいままでの参加の中で地区内参加クラブ紹介は、分区の数字の呼びかけで分区会員のみなさんを紹介していました。今回は地区のまちの紹介を含めた紹介で、多少時間はかかりましたが、面白い試みだったと感じました。ただ第4分区は当、南クラブの蕪澤 AG の紹介の中で、三条地区の古墳の話が出たのには他クラブより質問を受けたらどうしようと思いましたが…。

続いて RI 会長代理、小沢一彦氏のお話の中で、国際ロータリー役員の方々の人間らしい一面の紹介はいつもとは一味違ったものでした。(参加したからこそ聞ける?)

『アジア大交流時代の幕開けと日本』と題した記念講演では、現在、尖閣諸島等の諸問題で考えさせられることも多い中、以前、隣国のこどもの教育について、親がこどもに期待する教育方針アンケートでは日本人は向上心、中国人は闘争心、韓国人は競争心と述べていたことを思い出し、あらためて真の交流の難しさを感じました。

また、交換学生の体験発表はいつもながら感心させられます。外国人の方の不得意な食べ物の筆頭格は梅干し、納豆と聞いていますが、最初に食べた納豆を今は大好きになったことを他国での人間関係になぞらえて、文化の違いはあっても食べて(話して)みて慣れることが大切であると話していたことがこころに残りました。

以上、大会参加のご報告と致します。



**Birthday**  誕生日

12月のお祝い

\* おめでとうございます \*



- 会員誕生 11日 鈴木岡彦君 25日 大溪秀夫君
- 夫人誕生 5日 赤塚康子(寧)さん 18日 嘉瀬弘子(修)さん
- 19日 坂井洋子(範夫)さん 23日 坂本満寿子(洋司)さん
- 結婚記念 25日 野水孝男君・智恵子さん

**表紙について**



テオドール・ルソー(1812~1867)

■ 「フォンテーヌブローの森」

1861年

村内美術館

ロータリーの友 1990年 2月号表紙より

**三条南ロータリークラブ週報**

2010.11.29

No.1975 No.17